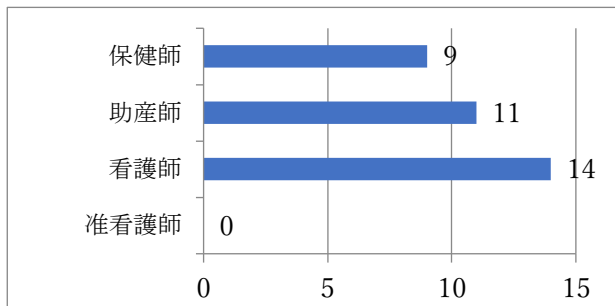


4. 保健師・助産師・看護師職能合同研修

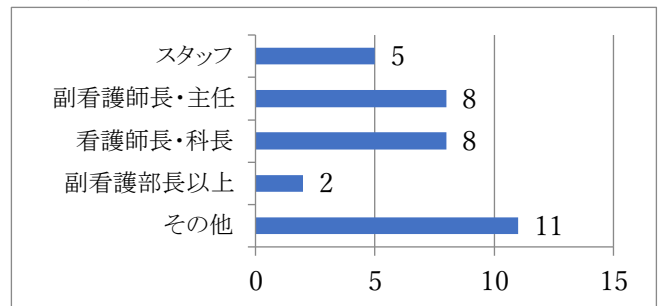
研修名	コロナ禍から with コロナ時代への移行を看看連携で支える	
開催日時	令和5年7月30日(日)	時間 13:30~15:30
受講者数	50名(会員:44名 非会員:6名)	保健師 13名・助産師 13名 看護師 24名
ねらい	これまで体験した新型コロナウイルス感染症に関する事例について3職能で協議し、今後想定される看護課題の解決策や新たな取り組みについて示唆を得る。	
体験提供者	保健師：高知市地域共生社会推進課 朝比奈亜希子 高知市基幹型地域包括支援センター 田村 良子 助産師：高知大学医学部付属病院 井本 恵子 看護師Ⅰ領域：高知医療センター 大石 美和 看護師Ⅱ領域：ケアハウス花の郷高知 過足 味代	
内容 (キーワード)	with コロナ 情報共有 看護課題 看看連携	報告・意見交換

1.アンケート結果 出席者:50名 アンケート回収：34名 アンケート回収率：68%

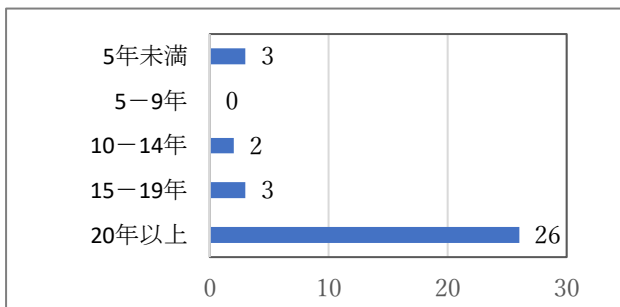
1) 職名



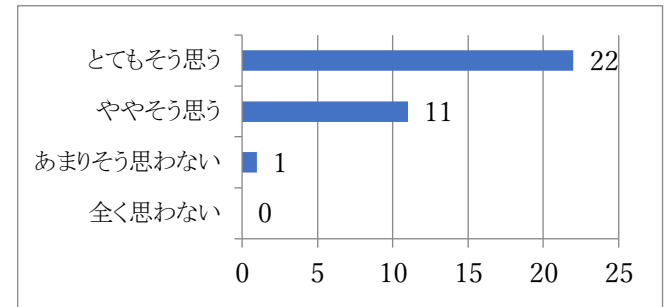
2) 職位



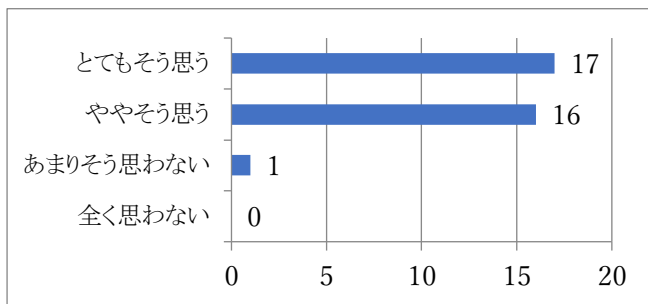
3) 経験年数



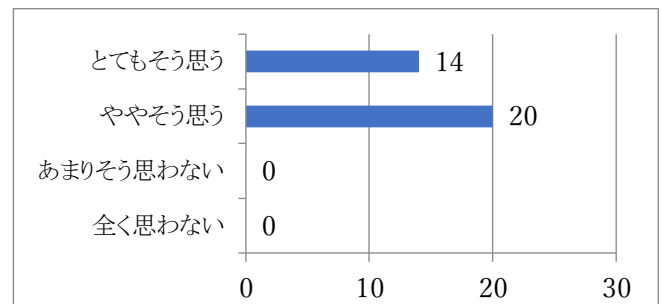
4) 研修内容の理解度



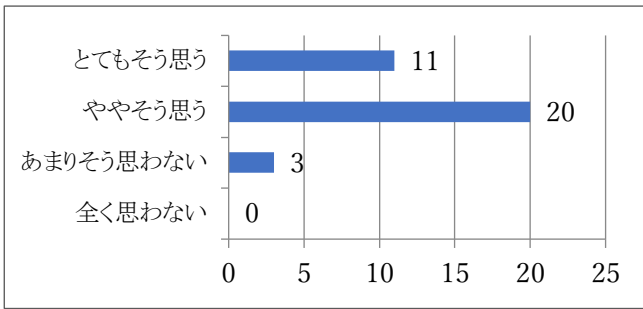
5) 参加目的の達成度



6) 今後の活動に活用できるか

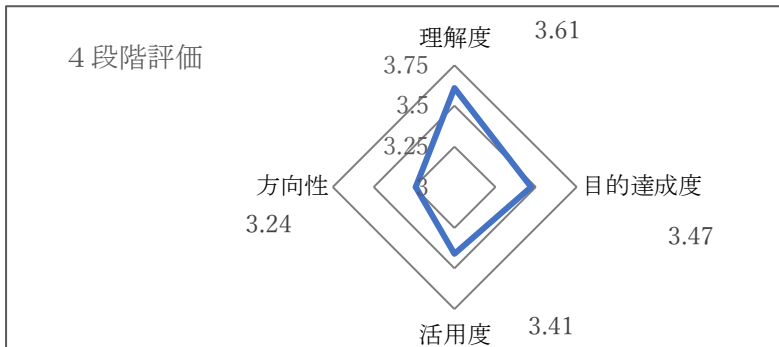


7) 課題解決の方向性

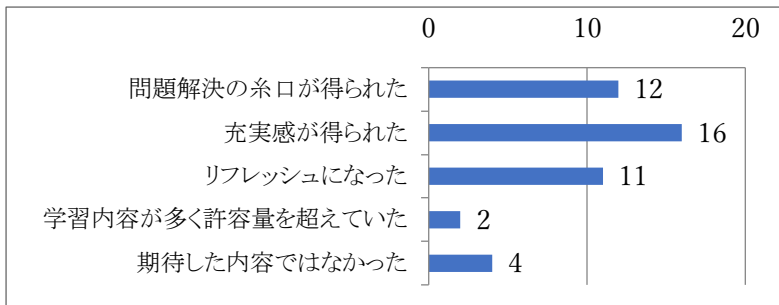


《あまりそう思わない・理由》

- ・経験年数が少なく課題の方向性を明確にするまで考えることができませんでした。
- ・課題解決の方向性は、各自が考えないといけないと託されたように感じました。
- ・課題解決の方向性は、各自が考えないといけないと託されたように感じました。



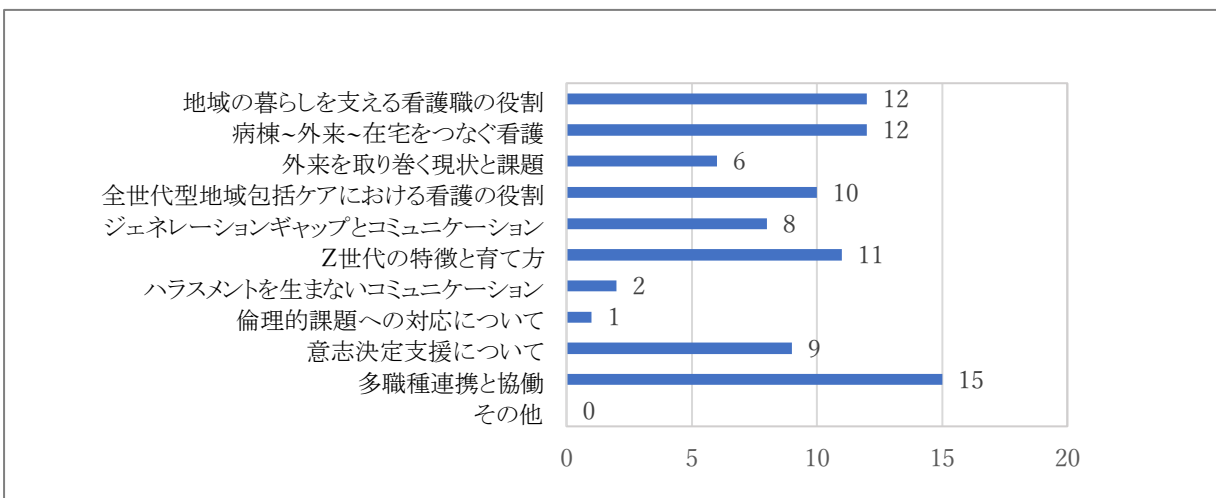
8) 研修全体を通じた感想(複数回答)



《意見》

- ・事例が聞けたことは参考になった
- ・ディスカッションできる時間がなくて残念
- ・予定していた内容と異なった

9) 希望する合同集会のテーマ



2. 感想、意見

- ・とても参考になるお話をたくさんお聞きできました。ありがとうございました。
- ・立場の違うところのそれぞれの取り組みや大変さがあり、勉強になりました。今後コロナ感染症は対策をしながら、受け入れをしていく必要があることを実感しました。
- ・時間は足りなかったかもしれませんが、保健師、助産師、看護師がコロナでどのような役割を果たしていたのか、お互いに理解しあえるよい研修会だったと思います。まずは知って、そこから看看連携につながるというなと思いました。
- ・今日の発表が聞けて、感染が増えてきた中でも、病院の看護師として、地域との連携など、出来ることを考えて、頑張っ乗り越えたらと思いました。
- ・実際のコロナ禍での施設 病院 地域での苦悩や対応が赤裸々にわかって、よかったです。
- ・それぞれの職場で、精一杯やる中でもどうすることも出来なかった体験や葛藤を聞くことができました。先の見えない不安の中で、指揮をとられた先生が、個人そして組織が繋がることで一点の光が見えた、と言われことばを思いだします。今後起こる災害の備えにも、このような研修企画は必要だと思います。
- ・テーマに関心があり、はじめて参加しました。今回はご発表で時間一杯となりましたが、次回は同席者の方々との意見交換の時間が確保できれば良いなと思いました。
- ・コロナ禍でのそれぞれの立場での発表が聞け、改めて大変だったことを実感しました。保健所の健康観察は、もっと市町村と連携した関わりができれば保健所の負担が軽減できたのでは、と考えました。
- ・他の職能や当時の施設の状況がよく理解出来て意義のある研修でした。
- ・退職者ですが相談センターと高知市保健所で相談業務をしました。今回後輩が連絡をくれましたので参加させていただきました。業務の渦中は自分達こそ大変だと思ひ込みがちですが今日の報告で医療職のいない介護現場が工夫しながら乗り気っていったことがよくわかりました。臨床のご苦労はもちろんです、介護職場の現状がもっと報道等されるようになれば予防行動にもより繋がるのではと思いました。久しぶりに独特の空気感の中に身を置きました。皆様のご活躍をお祈りしています。
- ・保健所の保健師として、コロナ対応に追われ、疲弊した3年だったが、病院、介護施設、クラスター発生における健康被害など、それぞれの発表から学ぶことができ、患者を支えてきたそれぞれの機関の大変さを痛感した。また、第9波により、病院は限られたベッド数のなかで、感染患者の受け入れに苦慮していることを知り、改めて、個人の感染対策は必要であることを認識できた機会になった。参加して良かったと思う。

3. 担当者のコメント

今年の職能合同集会は、COVID-19 第7波、第8波での医療現場や地域、高齢者施設等でのクラスターを体験した看護職が、その経験より得た知見を今後に生かすべく活動報告を行った。COVID-19は5月から5類に移行されたが、今後起こりうる看護課題をどのように支援していくのか、with コロナ時代について考える時間を持つことができた。アンケートの結果では、十分に協議する時間が持てず残念だったという意見もあり、時間管理等課題が残された。次年度も引き続き、3職能合同での集会を開催し、各職能の役割や課題等の共有や相互理解を図っていきたい。